

共同鑑賞を終えて ～感想集～



11月8日(水)の共同鑑賞では『ワンダー 君は太陽』を鑑賞し、話し合いのLHRをもちました。映画を見て純粋に感動した人も多かったのではないのでしょうか。生まれつき顔に障害を持った主人公オギーが、どんな時も正しさよりも優しさを選び、自分自身や彼の周りにもHAPPYに変えていく心の物語でした。その後のLHRでは映画の内容を討議の柱を中心に各クラスで話し合いを持ちました。みなさんは、今回の共同鑑賞で何を感じましたか。共同鑑賞を終えてのみなさんの感想をいくつか紹介します。



【1年次】

「普通とは?」という質問がすごく難しかった。普段生活している中で普通という言葉はいろんなところで使われているけど、自分の中では普通でも相手にとっては普通じゃないということがあるかもしれないと思った。個人個人の中で普通はあってもいいけど、自分の普通を相手に押し付けることはよくないと思った(Y)この世の中には自分と全く同じ人はいないから自分が他人と違うなどと言って差別したりする必要はないのじゃないかと思った(Y)自分は今まで障害を持った人とあまり関わりたくないと思っていたけど今回の映画を見て障害を持っている人でもしっかりと内面を見て仲良くしていきたいと思った。(H)主人公の強さとか周りの目を気にせず自分自身をさらけ出す勇気にとても感動しました。私も思いやりの心を大切にしようと思ったし、恵まれた環境にもっと感謝しようと改めて思いました。(F)私は人の見た目行動だけで偏見を持ってしまう人間です。

私はその人と関わったこともないのに、その人のことが嫌いになってしまうことがあります。今日映画を見て、私は最低なのだと思います。私は人の内面を見ず、勝手な決めつけで嫌いになってしまう行動を今すぐやめて今日からは変わっていきたくと思いました。(K)



【2年次】

世界的に見ても、障害者は結構いる。見た目や行動だけで判断するのではなく同じ職場や学校にいるならまずは話したりしないといつまでも苦手、嫌いといった感情を持ったままになると思った。もしかしたら明日、事故にあって自分がそうなったら、どうしてほしいのかを考えていけないと思った。(T)自分の持っている「普通」を当たり前とは思わずに広い視野を持って接していかなければならないと思いました。この先、就職したらいろんな人と出会います。広い視野を持つためにも、周りを見て行動し支え合うことをしていきたいです。(T)・・・人というのはとても強くて他の人をも変える力があるのだと思いました。(O)今回の映画を見て、人の外見を見て嫌がったりいじめたりするのは差別であり人権侵害だとはっきりわかりました。(O)・・・オギーだけじゃなくジャックのように友人のために優しさを選んで行動していたのはすごい尊敬すべきことだと思います。ヴィアのように親に対してさみしい思いをしていますが、ちゃんと姉の立場を務めているのは偉いし、すごいと思いました。(K)自分も今後障害を持つこともあるだろうし、年を取ったら変わらなくなるだろうから自分がされて嫌なことを人にせず生活していきたいと思う。(N)



【3年次】

自分だけの意見じゃなく、他の人の意見もたくさん聴けたのでとても良かった。みんなが心に残った人物はオギーが多かった。オギーはとても勇気のある人だと思った。普通ならあんなにいじめられていたら学校には行かないけど負けずに学校に行ったり、周りの友達にもとても恵まれていたと思う。自分もジャック・ウィルたちみたいに弱い立場の人に寄り添える人を目指していきたい。(S)この短い映画の中で主人公以外の人の人生も見て考えさせられ深い時間だった。またたくさんの方に気づけたと思う。あきらめずに立ち向かう姿、謝る勇気、友達を大切にすること、人の良さに気付けることなど、人生において大切なことばかりが詰まっていると思った。私もオギーみたいに強く生きていきたいと思った。(M)ジュリアンのことについて校長と両親が話し合っているシーンで、校長が「オギーは見た目を変えることができない。我々が見る目を変えなければいけないのです」と発言したところが印象に残った。(K)



他にも学びある感想が多数ありました。感想はそのまま載せています。